

「看護職」ってどんなお仕事？

看護の仕事は誰にでもできるものではありません。看護職者を養成する学校(大学を含む)や養成所(P5~6)を卒業し、国家試験(保健師・助産師・看護師)または県の試験(准看護師)に合格して資格を得た人だけが出来る仕事です。

「保健師」「助産師」「看護師」「准看護師」の4つの資格があり、それぞれ行うことができる業務が決まっています。

◆◆◆ 看護の資格は生涯有効です。“生涯の仕事”として働き続けることができます。 ◆◆◆

保健師

保健師はおもに保健所や市町村に勤務し、地域住民が健康に生活できるように支援する仕事をします。

市町村に勤務する保健師は、妊産婦や赤ちゃんの保健指導や家庭訪問、生活習慣病の重症化予防のための健康教育、介護が必要な高齢者の相談支援等を行います。また、地域住民の方や多職種と連携し、地域の健康水準が向上するよう、まちづくりの一翼を担います。

保健所に勤務する保健師は、結核や難病の患者さん、こころの病で悩んでいる人々の相談支援や家庭訪問等を行います。新型コロナウイルス感染症の蔓延防止等の対応も行っています。災害時には市町村と保健所が協力しながら被災者支援にあたります。

企業等で勤務する保健師もいます。企業の健康管理室などで勤務し、社員の健康を守る仕事をしています。保健師はやりがいを持ちながら生涯働き続けることができます。



助産師



助産師の仕事は、出産に立ち会い赤ちゃんを取り上げるという仕事です。さらに妊婦の健康管理、食事・運動の指導、出産後の体調管理、母乳指導、育児指導など、妊娠から出産、育児に至るまで、母子の健康を守るための一連の管理・指導活動を行います。

また出産の時期だけでなく、すべての女性の健康を守る仕事でもあります。思春期の性の悩みや、年齢を重ねる中で起きる不調(更年期症状)などの相談に応じたり、保健指導に携わる助産師もいます。働く場所としては、病院やクリニック等で働くことも、自分で助産所を開設することもできます。

看護師

看護師は大きな病院だけではなく、中小規模の病院や診療所、福祉施設や訪問看護ステーション、学校や企業など様々な場所で看護活動を実施しています。

病院で勤務する看護職は、入院患者さんの検温、清拭、食事や排泄の介助、処置や点滴の管理、投薬などを通じて療養支援をしています。外来では、診療の補助と共に在宅生活に必要な支援や相談対応を行っています。

診療所(クリニック)、福祉施設、訪問看護等在宅領域で働く看護師は、保健・医療・介護・福祉の関係者と協働し、切れ目ない療養支援を行い、超高齢社会において地域住民の生活を支える大事な役割を担っています。



ドクターヘリ内でトリアージ中



ドクターヘリにて搬送され救急外来に到着



もっと身近に。もっと知りたい。

三重県ナースセンターでは看護職を知ってもらうため下記のイベント等を行っています。他にも高校生を対象にした1日看護体験(P9~10)も実施しています。

みえ看護フェスタ

「看護の日・看護週間」*に合わせて看護の魅力をPRし、「みえ看護フェスタ」を開催しています。看護職を目指している学生等に看護進路ガイダンスや看護進学相談もやっています。誰でも気軽に看護体験や、助産師や保健師の仕事を知ることができます。

*「看護の日(5月12日)・看護週間(5月12日を含む日~土曜日まで)」



詳しくはナースセンターのホームページを見てね。



看護の出前授業

みんなで話そうー看護の出前授業は日本看護協会の呼び掛けにより、三重県看護協会と日本教育新聞社との共同で実施しています。三重県下の中学校・高等学校などに看護職が出向いて、生徒にいのちの大切さや看護の役割について話し合ったり体験する機会を提供しています。

授業内容(例)

- いのちの大切さ
- 生命の誕生
- 糖尿病や食物アレルギーの理解
- 性の多様性
- 看護職の仕事の魅力 など



自分が生まれてきたことは、本当に少ない確率で選ばれたことや、産んでくれた母親に感謝をしなければいけないと改めて思いました。



3kgの赤ちゃんの重さにびっくりしました。抱っこやオムツ替えの体験をして、思っていたより難しかったので、将来自分はできるのかなと思いました。



身近な病院の方が講師ということで親しみがわき、話し方もわかりやすかったです。赤ちゃん人形を使った実習等、内容に変化があり、生徒は最後まで集中して取り組むことができました。